

「株式学習ゲームから発見できたこと」

東京都立西高等学校 一年 井上有紀

この株式学習ゲームはたった三ヶ月のものだったが、それでも経済のしくみに関しては全く分からない私にとって、経済と生活、世界の関係が垣間見えた体験だった。私のグループは新日本石油の株を買った。この株価と日経平均、為替、そして日々のニュースを見ていくと、すべて関連し合っていることが分かった。

八月末。政権交代という大きな出来事が日本を揺らした。日経平均は上昇の傾向にあった。これは新政権の政策に期待して、多くの人が、企業が株を買ったからである。政治の出来事がすぐ経済に反映されてしまうのだということを私は知った。経済と政治は切り離せないものなんだと分かった。

その後日経平均は維持されたが、10月半ばから下がってしまう。円高が進んでおり、不況は回復できなかったのである。同時に私達の買った新日石の株価も下がっていた。ここで私はひとつの疑問を持った。石油というのは輸入産業である。だから円高なら有利になるはずではないのか。父に聞いたら、輸入自体は有利でも、国内で

の需要が不況のために落ちているから、輸入産業が必ず儲かるわけじゃないと言っていて、なるほどと思った。

日経平均は下がり続けたが、11 月下旬に再び、上昇が始まった。これはなぜなのだろう。政治の出来事を調べてみると、大きなものでは「事業仕分け」と「COP15」があった。事業仕分けは、子ども手当などの資金づくりにつながってくるので、景気対策である。それが動き出したことで影響したのかもしれない。

COP15 では合意できなかったことはあるものの、二〇二〇年までに温室効果ガス 25%削減と発表され、環境対策が注目された。しかし私は、石油は温室効果ガスや CO2 を生みだしてしまうものだから、環境が注目されている今、新日石はどうするのだろうと思った。調べてみると、新日石はちゃんとエコ製品を生み出していた。へらすべきものではあるが、だからこそチャンスになるのかもしれない。植物油とブレンドしたバイオガソリンや二〇〇八年には自動車用バッテリーも生み出している。プラスにしていることがすごいと思った。日本の技術は環境面でもとても長けているので、経済にも良い影響を及ぼすのではないだろうか。日経平均の上昇に伴い、少し時期はずれたが新日石の株価も上昇している。

しかし、株価の変動は短期的なものであり、長期的な円高に対して経済を活発化させるのはもっと大変である。日銀の対策としての金利はすでに限りなく低い。今後、日本の経済はどうしたら活発になるのだろう。輸出に依存していると円高、不況のままだから輸入を増やすべきなのか。結局考えても答えは分からなかった。でも、経済は比べて、考えることをくり返すことで前へ進むのだと思う。そのことが株式学習ゲームにおいて私の大きな発見のひとつである。